

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 鳥取緑風 高等学校

重点項目	特別支援教育	提出日	令和3年5月7日
------	--------	-----	----------

1 学校目標	
<p>(1) 基本的な生活習慣の確立による、生徒の自己管理能力の育成</p> <p>(2) 夢と希望を持ち、世界を広げていくことのできる生徒の育成</p> <p>(3) 社会のルールやマナーを遵守する生徒の育成</p> <p>(4) 基礎・基本の重視による、生徒一人一人の学力の向上</p> <p>(5) 生徒が将来の生き方を意識する進路指導の充実</p> <p>(6) 自律性を伴った、生徒の自主性の育成</p> <p>(7) 自然環境について考え、行動することのできる生徒の育成</p>	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<p>○目標：個々の生徒の課題に向き合い、自立と成長を促す指導の充実</p> <p>&lt;数値目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケートで、「授業は工夫されていて、わかりやすい」「質問や相談に丁寧に応じてくれる」「ルールやマナーを意識した行動をとろうと心がけている」「学校に居場所や安心の材料がある」と肯定的に回答した生徒の割合75%以上が継続。</li> <li>・全生徒に対して、担任等による面談を年3回以上実施。</li> </ul>	<p>&lt;数値結果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 授業は工夫されていて、わかりやすい。 ➡82.8%</li> <li>② 質問や相談に丁寧に応じてくれる。 ➡85.7%</li> <li>③ ルールやマナーを意識した行動をとろうと心がけている。 ➡80.9%</li> <li>④鳥取緑風高校は、安心して通える学校だ。(学校に居場所や安心の材料がある。から表現を修正) ➡82.2%</li> <li>⑤ 担任等による面談 ➡3回以上達成</li> </ul> <p>○①～④すべての最終評価で8割以上の肯定回答が得られ、前年度比③1.3ポイント減だったものの、①3.3ポイント、②変わらず、④10.3ポイント増で、年度内の取組による成果は見られた。</p> <p>○担任面談3回以上に加え、1・2年生にはSCによる定期面談も実施した。そのほか進路指導担当やCA、SSW、関係職員による面談をきめ細かに実施し、生徒の安心した生活への支援となった。</p>
3 実施事業	
<p>【高等学校課事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校における特別支援教育充実事業（「高校における通級による指導」モデル校） 通級による指導の調査・研究および開始、基礎学力や社会的スキル定着のための指導・支援の充実、校内職員研修会</li> </ul>	

#### 【独自事業】

- ・心とからだのケア支援事業  
基本的な生活習慣定着の支援、精神科医・学校医による生徒・保護者への健康指導・助言、  
専門家によるアドバイスミーティング
- ・緑風ハートフル事業  
夏季宿泊体験、冬季スキー体験及び校内創作体験活動
- ・基礎学力育成のための支援事業  
緑風ソシオ（大学生等による授業等支援）、ICT活用によるわかりやすい授業の工夫
- ・生活の自立を目指す体験活動  
地元食材を用いた料理講習、テーブルマナー講習、生活の技術習得のための支援

#### 4 総合所見（成果・評価）

本校生徒の実態を踏まえ、令和2年度も前年度同様の数値目標5項目をあげ、①～⑤の結果のとおりほぼ目標を達成できた。上記3の事業は、新型コロナウイルス拡大で実施できなかった外部講師によるアクティブラーニング対応の教職員研修、県外研修会参加、先進校視察を除きほぼ実施し、生徒の指導・支援にいかすことができたほか、通級による指導にも着手できた。中学校までの生活体験、学習歴や生育歴等が多種多様な本校生徒に対し、きめ細かな対応を前年度以上に促進した成果であると思われる。

また、これら数値目標に係る保護者アンケート項目も、すべて80%以上の肯定的評価を得ている。生徒個々に応じた支援は本校が重視しているものであり、①～⑤に関する取組をさらに創意工夫し、生徒の自立と成長を促したい。

※枚数任意